



2021年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年6月9日

上場会社名 株式会社 大盛工業 上場取引所 東
 コード番号 1844 URL <https://www.ohmori.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 関 忠夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 及川 光広 TEL 03-6262-9877
 四半期報告書提出予定日 2021年6月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年7月期第3四半期の連結業績（2020年8月1日～2021年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第3四半期	3,869	△2.1	362	△24.7	353	△23.9	308	△16.8
2020年7月期第3四半期	3,952	△10.5	481	27.4	464	31.9	370	33.2

(注) 包括利益 2021年7月期第3四半期 308百万円 (△16.8%) 2020年7月期第3四半期 370百万円 (33.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期第3四半期	20.77	20.34
2020年7月期第3四半期	24.97	24.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年7月期第3四半期	9,127	4,367	47.0	289.18
2020年7月期	9,145	4,142	44.7	275.41

(参考) 自己資本 2021年7月期第3四半期 4,289百万円 2020年7月期 4,085百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2021年7月期	—	0.00	—	—	—
2021年7月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年7月期の連結業績予想（2020年8月1日～2021年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,165	△0.4	335	△37.8	307	△40.0	243	△27.8	16.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年7月期3Q	14,848,429株	2020年7月期	14,848,429株
② 期末自己株式数	2021年7月期3Q	16,022株	2020年7月期	15,009株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年7月期3Q	14,832,906株	2020年7月期3Q	14,834,161株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動あった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により東京都において3度目の緊急事態宣言が発出される状況となり、依然として先行きの不透明な状況が続きました。

国内建設市場につきましては、国土強靱化計画等を背景とした公共投資が底堅く推移したほか、当社グループが行う東京都における上・下水道設備の建設につきましても、早急な対策の必要性等から工事の発注が継続して行われており、事業環境は概ね良好な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループの主力の建設事業におきましては、施工期間の短縮、工事コストの低減等の完成工事総利益増加に向けた取り組みを継続するとともに、新たな事業分野の開拓及び事業規模の拡大を行うため、東京都の港湾・河川工事等の施工において優秀な技術、実績を持つ建設会社（港シビル株式会社）の子会社化を進めてまいりました。

不動産事業等におきましては、太陽光発電設備、賃貸不動産物件等の販売を継続するとともに、O L Y機材リース事業につきましては、営業担当者の増員を図り、受注高・売上高増加に向けた営業活動を展開してまいりました。

通信関連事業におきましては、売上高及び売上総利益の増加に向けた営業活動に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,869,837千円（前年同期比2.1%減）、営業利益は362,731千円（前年同期比24.7%減）、経常利益は353,428千円（前年同期比23.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は308,042千円（前年同期比16.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

（建設事業）

建設事業におきましては、受注高1,430,264千円（前年同期比68.7%減）、売上高2,714,102千円（前年同期比10.7%減）、セグメント利益（営業利益）226,427千円（前年同期比34.4%減）となりました。

（不動産事業等）

不動産事業等におきましては、不動産物件の売却並びに賃貸収入、O L Y機材のリース販売等により、売上高913,781千円（前年同期比45.8%増）、セグメント利益（営業利益）109,929千円（前年同期比15.5%増）となりました。

（通信関連事業）

通信関連事業におきましては、N T T局内の通信回線の保守・管理業務等により、売上高254,021千円（前年同期比13.5%減）、セグメント利益（営業利益）26,118千円（前年同期比37.4%減）となりました。

（その他）

その他事業におきましては、クローゼットレンタル事業等により、売上高3,530千円（前年同期比4.3%増）、セグメント利益（営業利益）256千円（前年同期は381千円のセグメント損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産の残高は、9,127,697千円となり、前連結会計年度末に比べ17,969千円減少いたしました。主な理由は、現金及び預金の増加276,635千円、受取手形・完成工事未収入金等の減少821,797千円、未成工事支出金の減少203,094千円、販売用不動産の増加755,974千円、のれんの減少14,525千円によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債の残高は、4,760,272千円となり、前連結会計年度末に比べ242,497千円減少いたしました。主な理由は、短期借入金の減少587,244千円、未成工事受入金の減少348,760千円、賞与引当金の増加48,972千円、損害補償損失引当金の減少25,000千円、未払法人税等の減少69,970千円、その他流動負債の増加132,995千円、長期借入金の増加565,327千円によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、4,367,425千円となり、前連結会計年度末に比べ224,527千円増加いたしました。主な理由は、利益剰余金の増加204,208千円、新株予約権の増加20,532千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月期の通期の業績予想につきましては、2020年9月14日付の当社「2020年7月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において発表しました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,410,892	2,687,528
受取手形・完成工事未収入金等	1,965,216	1,143,418
未成工事支出金	400,664	197,569
不動産事業等支出金	133,137	38,210
販売用不動産	2,729,451	3,485,425
貯蔵品	41	36
その他	114,784	166,142
貸倒引当金	△2,779	△3,149
流動資産合計	7,751,409	7,715,183
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	378,169	361,654
機械・運搬具（純額）	58,593	79,226
土地	608,922	608,922
リース資産（純額）	2,589	472
有形固定資産合計	1,048,276	1,050,276
無形固定資産		
のれん	64,556	50,031
その他	2,537	2,892
無形固定資産合計	67,094	52,923
投資その他の資産		
長期貸付金	66,333	60,860
保険積立金	36,578	36,578
退職給付に係る資産	6,203	26,979
繰延税金資産	69,739	80,922
その他	117,306	113,427
貸倒引当金	△17,275	△9,455
投資その他の資産合計	278,886	309,313
固定資産合計	1,394,257	1,412,514
資産合計	9,145,667	9,127,697

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	298,506	324,272
短期借入金	986,497	399,253
未払金	50,913	72,045
未払法人税等	98,379	28,409
未成工事受入金	857,287	508,526
賞与引当金	70,114	119,087
役員賞与引当金	3,900	—
損害補償損失引当金	55,000	30,000
完成工事補償引当金	28,082	21,927
その他	128,995	261,991
流動負債合計	2,577,677	1,765,514
固定負債		
長期借入金	2,399,420	2,964,747
その他	25,672	30,010
固定負債合計	2,425,092	2,994,757
負債合計	5,002,770	4,760,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,765,371	2,765,371
資本剰余金	704,230	704,163
利益剰余金	670,117	874,326
自己株式	△54,407	△54,553
株主資本合計	4,085,311	4,289,307
新株予約権	57,585	78,117
純資産合計	4,142,897	4,367,425
負債純資産合計	9,145,667	9,127,697

（2）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年8月1日 至 2020年4月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年8月1日 至 2021年4月30日）
売上高		
完成工事高	3,038,848	2,714,102
不動産事業等売上高	616,652	898,181
通信関連売上高	293,634	254,021
その他の売上高	3,306	3,530
売上高合計	3,952,443	3,869,837
売上原価		
完成工事原価	2,415,806	2,232,366
不動産事業等売上原価	487,312	731,841
通信関連原価	139,576	118,249
その他の売上原価	443	261
売上原価合計	3,043,139	3,082,718
売上総利益		
完成工事総利益	623,042	481,736
不動産事業等総利益	129,339	166,340
通信関連総利益	154,058	135,772
その他の売上総利益	2,863	3,269
売上総利益合計	909,304	787,118
販売費及び一般管理費	427,398	424,387
営業利益	481,905	362,731
営業外収益		
受取利息	2,099	993
為替差益	—	1,860
貸倒引当金戻入額	—	7,663
受取保険金	—	23,014
未払配当金除斥益	1,631	749
助成金収入	1,140	824
その他	5,987	2,630
営業外収益合計	10,859	37,737
営業外費用		
支払利息	22,614	22,560
為替差損	759	—
支払手数料	500	5,909
貸倒引当金繰入額	4,580	—
役員弔慰金	—	12,000
建物解体費用	—	6,000
その他	93	570
営業外費用合計	28,548	47,040
経常利益	464,216	353,428
特別利益		
固定資産売却益	29	11,636
特別利益合計	29	11,636
特別損失		
固定資産売却損	4,881	370
固定資産除却損	4,837	0
特別損失合計	9,719	370

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年8月1日 至 2020年4月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年8月1日 至 2021年4月30日）
税金等調整前四半期純利益	454,526	364,694
法人税、住民税及び事業税	91,372	67,834
法人税等調整額	△7,286	△11,182
法人税等合計	84,086	56,651
四半期純利益	370,440	308,042
（内訳）		
親会社株主に帰属する四半期純利益	370,440	308,042
四半期包括利益	370,440	308,042
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	370,440	308,042

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症による影響については、工事の中断や遅延等による売上原価の増加などにより、工事進行基準による完成工事高の算定に用いる見積総工事原価等に影響を及ぼす可能性があるものの、現時点では、その影響はありません。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況や収束時期等によっては、これらの見積り及び仮定に基づく数値は実際の結果と異なる可能性があります。

（セグメント情報等）

〔セグメント情報〕

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年8月1日 至 2020年4月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)3
	建設事業	不動産事業等	通信関連事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,038,848	616,652	293,634	3,949,136	3,306	3,952,443	—	3,952,443
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	9,907	—	9,907	77	9,984	△9,984	—
計	3,038,848	626,560	293,634	3,959,043	3,383	3,962,427	△9,984	3,952,443
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	345,417	95,136	41,732	482,286	△381	481,905	—	481,905

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クローゼットレンタル事業の売上等であります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

売上高の調整額△9,984千円は、セグメント間取引消去△9,984千円であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2020年8月1日 至 2021年4月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)3
	建設事業	不動産事業等	通信関連事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,714,102	898,181	254,021	3,866,306	3,530	3,869,837	—	3,869,837
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	15,600	—	15,600	—	15,600	△15,600	—
計	2,714,102	913,781	254,021	3,881,906	3,530	3,885,437	△15,600	3,869,837
セグメント利益	226,427	109,929	26,118	362,474	256	362,731	—	362,731

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クローゼットレンタル事業の売上等であります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

売上高の調整額△15,600千円は、セグメント間取引消去△15,600千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。